

## メディアリテラシー教育における 批判的思考教材の活用

鈴木 宏昭  
青山学院大学

1

## 多様性を欠落しつつある社会

- 対抗勢力の不在
- グローバリズム
- 格差社会
- 社会の心理学化
- 新国家主義

2

## メディアの利用

- 権力によるメディアの「活用」
  - ー規制緩和
  - ー改革を止めるな
  - ー戦後レジーム
  - ー政治主導
- 個人によるメディア利用のあり方
  - ーネット利用における匿名
  - ーフィルタリング
  - ー炎上

3

## メディアリテラシー教育で何をを目指すか

- メディアに現れる他者の主張を批判的に検討する。
- それについての自己の感想、主張も批判的に検討する。
- こうして生まれる多様な可能性に対して、合理的、論理的な判断、意思決定を行う。

4

## これまでにやってきたこと、 (今日お話しすること)

- 文献の批判的(問題構築的)読みを通したレポートライティング力の育成

- 批判的思考の育成

5

## 批判的思考の育成

メディアリテラシーと批判的思考  
知識ソースの形成  
作問による能動的な学習

6

## 批判的思考とメディアリテラシー

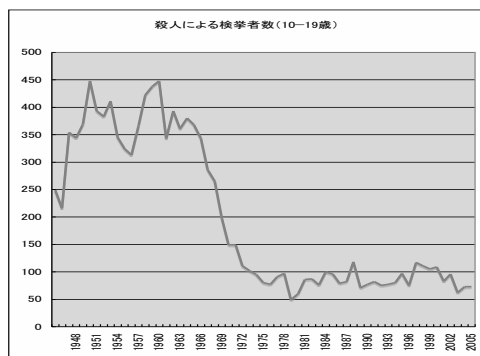
- メディアリテラシー
  - 情報機器操作の能力
  - 情報発信のための知識とスキル
  - メディアの批判的受容
- メディアの言説を批判的に検討する能力の必要性
- メディアに対する批判的思考→メディアリテラシー

7

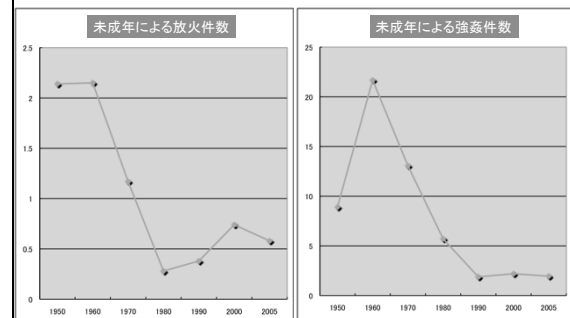
## 少年犯罪を巡る1990年の状況

- 若者が荒れているのではないかという、一般的な風潮(いつの時代でもある)
- 神戸の少年Aの事件および当時の少年による凶悪事件(異質性, 被害者の権利, 少年審判の問題)
- 少年法が甘すぎる。厳罰化し見せしめを作る。
- 少年法を改正し、悪事を働く少年少女に厳罰を与える。(2000年施行)

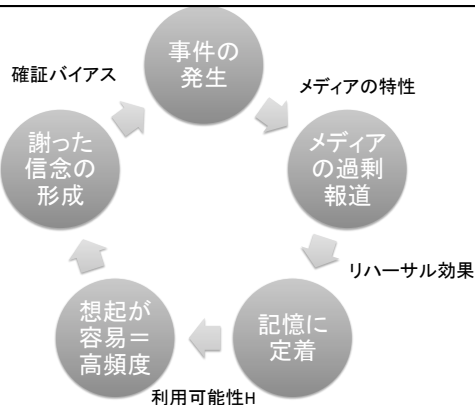
8



9



10

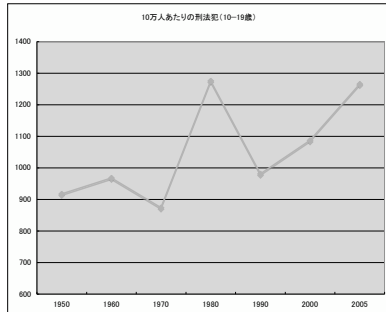


11

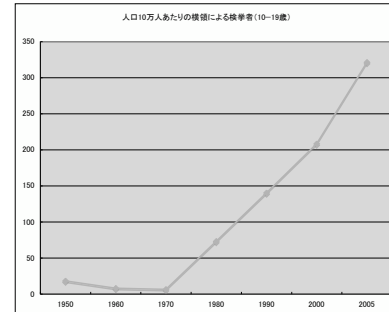
## なぜ少年犯罪が増えたと考えたか

- 少年犯罪は珍しいのでメディアは集中して取り上げる。
  - メディアの特性
- その結果、我々の目によく触れるようになる。
- よく触れるものは思い出しやすくなる。
  - リハーサル効果
- 思い出しやすいものは、よく起こると考える
  - 利用可能性ヒューリスティクス
- よく起こっているという信念が確立すると、それと整合的な自称にのみ注意が向く
  - 確認バイアス
- メディアの性質と認知システム間の不整合

12



13



14

## 批判的思考の獲得の難しさ

- 一般に抽象的な知識の「真」の獲得は存外に難しい。
- メタレベルの知識も同様(さらに?)に難しい。
- 知識の文脈依存性のため「応用」,「転移」が難しい。
- 正当な批判的思考を阻む人間の思考のクセ

15

## 「真」の獲得のための2つの方策

- 批判的思考に役立つ, より抽象度の低い便利なスキーマの獲得
- 自ら構造を作り出す→作問

16

## スキーマ獲得のための教材



昭和館書店

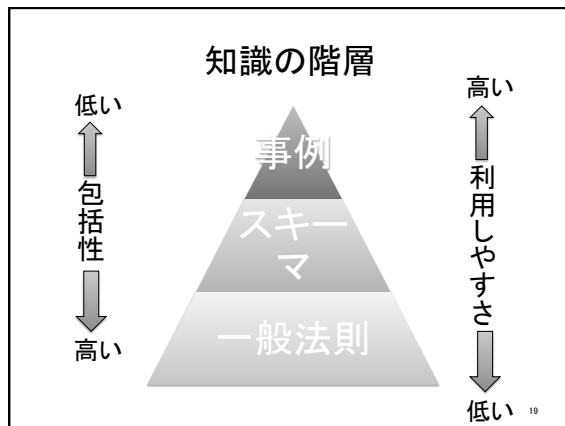
- 特徴
  - 人間の思考のクセ(バイアス)を体系的に解説している。
  - 一般向けなので、経済学や心理学の基礎知識は必要ない。
  - 短い章で校正されている(約350ページ、39章)
  - 分担が容易
  - 毎週の課題にも対応できる。

17

## 取り上げられている現象

- 認知の基礎過程
  - チェンジブラインドネス
  - 系列内位置効果
  - 虚偽記憶
- 高次認知過程
  - ベースレートの無視
  - 少数の法則
  - 代表性
  - 利用可能性
  - アンカリング
- 社会心理学
  - 予言の自己成就
  - 原因帰属
  - バーナム効果(フォアラール効果)
  - ハロー効果
  - 集団規範(group norm)

18



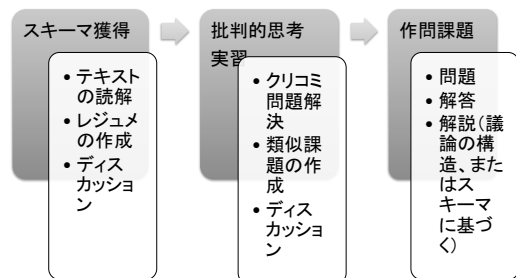
### 演習の目的と手段

- 他者の主張、現象の批判的検討の力を育成する。
  - 議論の一般図式を知る(クリコミ)。
  - 世の中のさまざまな主張や現象を説明するスキーマの獲得(テキスト)。
  - これを作問を通して定着させる(事例とディスカッション)。

### 受講者

- 教育学科の2年生25名
- 選択科目
- 多くは教員志望

### 授業の流れ



### 講義計画(1): スキーマ形成

- 09/28 初回(事前テスト等)
  - 10/05 レジューメの書き方
  - 10/12 レジューメ発表会(1)
  - 10/19 レジューメ発表会(2)
  - 10/26 発表準備会
  - 11/02 レジューメ総合発表会
- テキスト:「世界は・・・」
- 23

### 計画(2): 批判的思考実習

- 11/09 議論の明確化
  - 11/16 発見事例ディスカッション
    - 新聞から事例を探す
  - 11/30 隠れた前提
  - 12/07 作成事例ディスカッション
    - 自分で三段論法の身近な例を作る
  - 12/21 論拠の強さ
  - 01/11 最終(事後テスト等)
  - 最終課題(作問)
    - テキスト: クリコミブック
- 24

## 批判的思考の教材とその利用

- 「クリコミBOOK」(楠見・子安・道田・林・平山, 2010)

- 主張-根拠構造
- 隠れた前提
- 根拠の強さ

をわかりやすい例題と解説から学べる。

- さらに、教材と同じ構造を持つ事例を作らせ、それについてのグループディスカッションを行わせる。

25

## 作問の意味と意義

- 構造(解法)の抽象化
- 構造(解法)の自覚的な把握(市他, JSAI2010)
- 適用可能な範囲の確定(平嶋, JSAI2009)
- アクティブに世界を探索する必要性(小島他, 印刷中)。

26

## 例: 利用可能性ヒューリスティクス

- 発生頻度が関わるようなことは? → 事例
- 発生頻度が高いものは? → 一般化
- 思い出しやすいものは? → 事例
- 何があると思出しやすくなる? → 一般化
- ズレが起こるものとは?

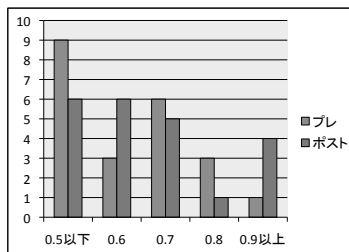
27

## 作問例

- 隠れた前提の作問例
  - Xさんはブランド品を持っている
  - Xさんは金持ちだ。
  - 隠れた前提: ブランド品を持つ人は金持ちだ。
- 健康維持をしたい。
- 好き嫌いをなく食べよ
- 隠れた前提: 健康維持のためには、バランスのとれた栄養が必要。

28

## 事前一事後テストの結果



効果測定として、楠見他(2010)「批判的思考力テスト」を利用した。  
 事前テスト平均 55%  
 事後テスト平均 63%  
 ( $t=1.73, p<.10$ )  
 相関は0.08

29

## 学生の最終レポート

- 利用可能性ヒューリスティクス
- 少数の法則
- 代表性ヒューリスティクス

30

## 状況



31

## まとめ

- 批判的思考をメディアの言説に適用する力を育成する。
- 使いやすいスキーマを現象説明のリソースに用いる。
- 作問を通して、世界をよりアクティブに探索させる。

32

## 今後の課題

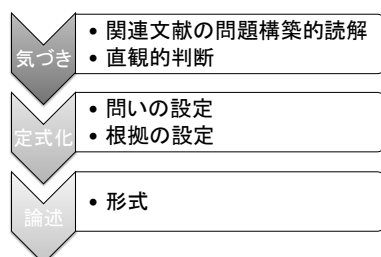
- 途中の活動
  - 事例の発見
  - 作問例
 と最終的なレポートとの関連を探る。
- CM(特に通販系)の批判的分析を行う。

33

## レポート作成のための 問題構築的読解

34

## レポートライティングのプロセス



35

## 問題構築型の読み

- 高校までの読み＝受容型の読み
  - 書かれてあることを正確に理解する。
  - 著者の主張を読み取る。
- レポートライティングに必要な読み
  - 問題を見つける(けちをつける, つっこむ等)。
  - 自分の主張の素材となるものを見つける。

36

## 問題設定のプロセス

### 気づき → 定式化

- 関連文献の問題構築的読み
- 明確化:「問題化」、命題化する。
- 自分のレポートの素材となる、おもしろいところ、変なところ、なるほどと思うところを見つけ出す。
- 普遍化:問題の重要性、なぜそれを取り上げるか、
- 相対化:他の立場の検討、主張に限定をつける。

37

## 問題への気づきと批判的思考

### 批判的思考の重要性

- 主張の把握
- 論拠の種類
- 論拠の強さ
- 始めから言語的に、明晰に問題点を述べられるわけではない。
  - 権威への服従の問題
  - 領域知識の不足

38

## 1, 2年生の問題発見支援の枠組み

始めのハードルを低くする

協調に漸次的洗練

論じるべき問題の把握

39

## EMU

(Emotional and Motivational Underliner)

- 直観的、感情的思考を誘発し、問題構築のための読みを支援するWebアプリケーション。
- 機能
  - マーキング: 気になる箇所に下線引き
  - タグづけ: 感情タグを用いる
  - コメント: 自分のメモ
  - 協調機能
    - 1人の他学習者のマーキングの閲覧
    - 複数学習者のマーキングの重ね合わせ
    - 他学習者のマーキングに対するコメント付与

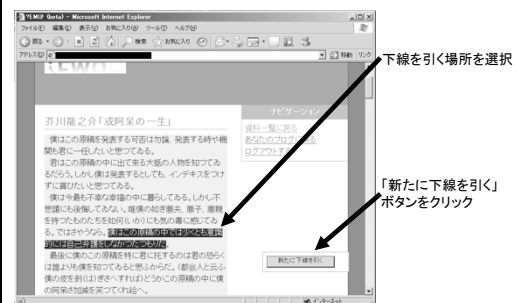
40

## 戸田山説に準拠した感情タグ

- へえ(メウロコ)
  - 「へえ、そうなんだ、知らなかった」「よくこんなこと思いつくな」
- ムカッ(ハゲパツ)
  - 「おいおい、それは違うだろ!」「これはひどい」
- ？？(ナツイカ)
  - 「ん? 本当か?」「よくわからないな」
- こそ大事
  - 「ここは大事な」
- そうそう(ハゲドー)
  - 「そうそう、その通り」「いい意見だ」

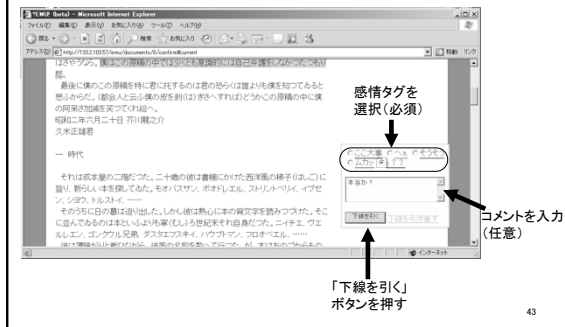
41

## マーキング (1/3)



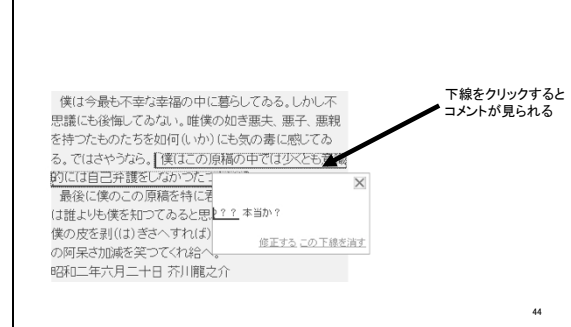
42

## マーキング (2/3)



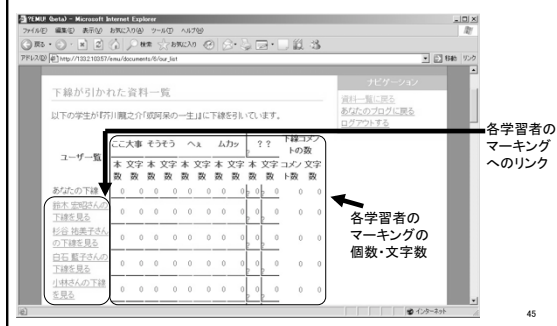
43

## マーキング (3/3)



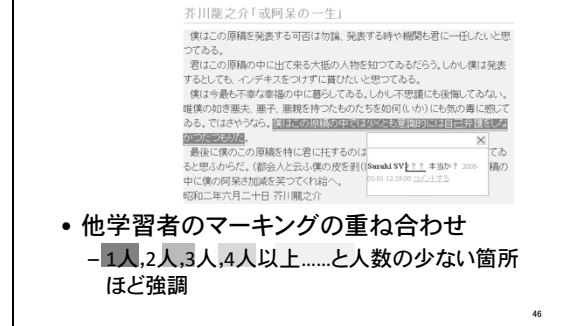
44

## マーキングの共有 (1/3)



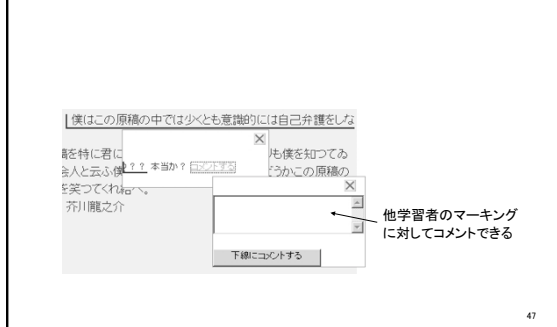
45

## マーキングの共有 (2/3)

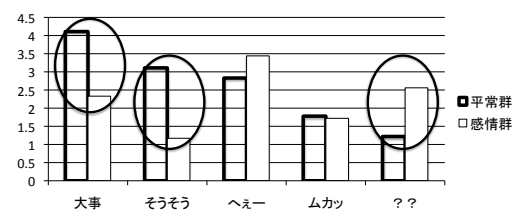


46

## マーキングの共有 (3/3)



47

どのタグをよく用いるか  
(平均利用数)

島根大学初年次教育相互研修会091120

48

## どのような感情を誘発するか

コメントのトーン(%)

|    | 賛成   | 中立   | 反対   |
|----|------|------|------|
| 1色 | 8.2  | 52.9 | 38.8 |
| 平常 | 35.7 | 22.9 | 41.4 |
| 感情 | 22.3 | 24.7 | 53.7 |

意見文のトーン(%)

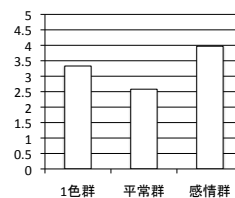
|    | 賛成 | 反対 |
|----|----|----|
| 1色 | 22 | 78 |
| 平常 | 50 | 50 |
| 感情 | 17 | 83 |

島根大学初年次教育相互研修会091120

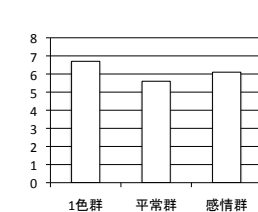
49

## 意見文, 内容理解テスト

意見文の成績(6点)



内容理解テストの成績(9点)



島根大学初年次教育相互研修会091120

50

## 協調機能利用のプロセスと 分析の結果

文献にマーキングを付与  
(オリジナルコメント作成)

他者のマーキングを閲覧

ピアコメントを他者に付与

ピアコメントを閲覧

意見文の作成

意見文の得点の上  
位のものとは下位の  
ものの比較

51

## 結果1: 他学生のオリジナルコメントの閲覧頻度

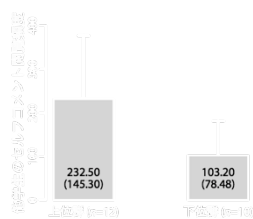
文献にマーキングを  
付与他者のマーキングを  
閲覧他者のマーキングに  
ピアコメントを付与他者からの  
ピアコメントを閲覧

意見文の作成

- 感情タグ別の, 他学生  
のマーキングにお  
けるオリジナルコメン  
トの閲覧頻度  
— 下線をクリックした回  
数

52

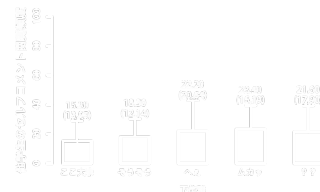
## 結果1-1: オリジナルコメント閲覧頻度(総数)



- 上位群 > 下位群は明らか
- 単に上位群は利用の頻度が高いだけ?

53

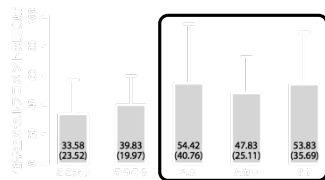
## 結果1-2: (タグ別) 下位群のオリジナルコメント閲覧頻度



- 下位群はタグによる差なし

54

### 結果1-3(タグ別): 上位群のオリジナルコメント閲覧頻度



- 上位群はへえ、ムカッ、？？が他2つと比べて多め
- 下位群はタグによる差なし

55

### 結果2: 産出したピアコメントの量

文献にマーキングを  
付与

他者のマーキングを  
閲覧

他者のマーキングに  
ピアコメントを付与

他者からの  
ピアコメントを閲覧

意見文の作成

- 他学生のマーキング  
へのピアコメント産  
出量  
– 産出量=コメントの数  
に関係なく文の個数

56

### 結果2: 産出したピアコメントの量

- ピアコメントの内容を以下に分類
  - 賛成 オリジナルコメントの内容に賛成したり驚いたりしているもの
  - 反対 オリジナルコメントの内容に反対したり疑問を示したりしているもの

| オリジナルコメント | ピアコメント |
|-----------|--------|
| 文章の内容に賛成  | 賛成     |
| 文章の内容に反対  | 反対     |
| 文章の内容に賛成  | 賛成     |
| 文章の内容に反対  | 反対     |

57

### 結果3-2:「セルフ反対←ピア賛成」の コメントの例

本文 日本にしても、格差があれば若者は前向きになるはずだ。

オリジナルコメント 確かに前向きになる人もいるかもしれないが、絶望して犯罪に走る人もいるのが事実だ。

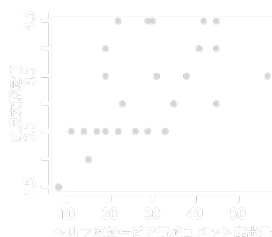
ピアコメント 絶望してしまうようなヤツもいるということを忘れてました。視野が広いですね。

- オリジナルコメントでは本文に否定的
- ピアコメントはオリジナルコメントを支持

- このようなピアコメントの産出量(文の個数)
  - 上位群 M=34.83 (SD=11.82) > 下位群 M=15.50 (SD=6.70)

58

### 結果3-2: 産出した「オリジナル反対← ピア賛成」のコメントの量と意見文評 定値の相関



- 中程度の正の相関( $r=.53$ ,  $t(24)=3.09$ ,  $p<.01$ )

59

### 考察

- よい意見文が書ける学習者は.....
  - オリジナルコメントの閲覧頻度高
    - 特にへえ、ムカッ、？？の感情タグが付いたコメントを読む頻度高
    - 新たな視点・懐疑的な視点のコメントを重点的に閲覧
  - ピアコメント全体の産出量が多い
    - 特に「セルフ反対←ピア賛成」のコメントが多数
- 批判的な部分に着目し、それを自分なりに評価すること、コメントすることが重要

60

謝辞

研究費助成

- 本研究は
  - 科学研究費基盤研究(B)「独創的で論理的なアカデミックライティングのための協調学習環境」(代表: 鈴木宏昭)
  - 青山学院大学ヒューマンイノベーション研究センター「創発学習環境デザイン」プロジェクトの助成を受けて行われた。
- ベネッセ・コーポレーションから教材の提供を受けた。

研究協力者

- 鈴木聡(青山学院大学 HIRC)
- 吉田航(東京工業大学)